令和4年度 社会福祉法人ユタカ福祉会 事業報告書

○総括

令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による様々な制限が続いてしまう形となり、感染予防を最優先とする中で限られた行事の開催を実施している。外出行事の開催は出来なかったものの、施設内で可能な限り楽しみが得られる様な行事を職員間で試行錯誤し、実施している。利用者の満足度が少しでも得られる様に、行事開催では豪華な天ぷらや、すき焼き等の昼食を提供している。新たな試みとしては、「ご当地祭り」をテーマに、日本各地のイベントを模して、高知県のよさこい祭りや仙台の七夕祭り等を開催し、コロナ過でも限られた楽しみが得られる様に努めた。本年度は新型コロナウイルスの影響により、自粛を含めた利用者数の減少が多い中、館内の空調設備を一新し、給湯器の入れ替え工事や、感染症対策として最新の空気清浄機を多数導入等の設備投資をして、施設がより良い環境となり、利用者が快適に過ごせる様になった。令和5年度では新型コロナウイルスによる制限も、世界的に緩和していく方向で進む見込みであり、当施設でも引き続き感染症対策を徹底した上で、外出を含む新しい内容の行事を取り入れ、利用者の活気と意欲を取り戻す事に尽力していく。

地域交流においても、感染予防の観点から地域行事の開催は、自粛や中止が相次いでいる状況であるも、地域住民と交流する機会を増やせられる様に、積極的に挨拶を行う事に努めている。施設で飼育しているヨウムやインコ、ミミズクが当施設のマスコットキャラクターとなり、施設付近を通る地域住民が立ち止まる事で、それをキッカケとして交流を図る事が増えている。引き続き地域住民との交流を図る事で、施設の認知度向上と地域の拠点となる様に努めていく。地域主体の防災訓練も参加し、地域ぐるみで防災の知識を共有する事が出来ている。引き続き地域の活動も積極的に参加する事で、地域としての連携強化が図れる様に努めていく。

令和4度の一般デイ(予防含む)・和みデイの平均登録利用者数は129名。(一般デイは105名、和みデイは24名。)自事業所、他事業所等も含めて64名のご紹介を頂き、利用に繋がったのが約57名となっている。登録者数は前年度に比べて、若干の減少となっており、ご紹介や新規登録者は前年度よりも多いものの、体調不良による入院や入所等での中止者が多い年度となった。ただし、年度末にかけてご紹介や新規利用者が増加傾向にある為、令和5年度は以前の様に多くの利用者で活気があふれる様な施設と様に、職員が一丸となって適切な支援に努める。和みデイに関しても若干の減少となっているものの、令和5年に入り、新規利用者が増えてきている。引き続き、和みデイの特色を生かした支援を広められる様に尽力する。新型コロナウイルスが第5類の位置づけとなり、様々な場面で規制緩和が施行される為、今まで自粛していた外出行事の再開を予定している。引き続き感染症対策を講じた上で、利用者にとって活力と意欲が得られる日々を、適切なケアのもとで送れる様に尽力する。

令和4年度を振り返り、新型コロナウイルスが世間を脅かす以前の様に、利用者の笑顔で活気あふれる施設となる様に、日々適切なケアを心がけて支援に努める。

○年間推移表(前年度との比較)

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7, 601 (87)	7, 303 (89)	7,069 (85)	7, 847 (89)	7, 952 (87)	7, 586 (81)
和みデイ	2, 769 (25)	2,694 (25)	2, 790 (26)	2,928 (26)	2,825 (23)	2,669 (22)
予 防	858 (28)	857 (30)	845 (27)	775 (26)	683 (23)	633 (21)
合 計	11, 228 (140)	10,854 (136)	10, 704 (138)	11,550 (141)	11, 460 (133)	10,772 (128)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 一般デイ	1 0月 7,039 (84)	1 1月 7,685 (84)	12月 7,706 (87)	1月 7,285 (88)	2月 6,863 (85)	3月 7,961 (84)
一般デイ	7,039 (84)	7,685 (84)	7,706 (87)	7, 285 (88)	6, 863 (85)	7, 961 (84)

• 令和 4 年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7, 488 (86)	7, 166 (81)	7, 147 (83)	7,072 (86)	6,005 (80)	6, 328 (80)
和みデイ	2,936 (23)	3,006 (24)	3,033 (24)	2,914 (23)	2, 348 (23)	2, 413 (21)
予 防	689 (22)	761 (26)	711 (23)	716 (24)	693 (24)	618 (21)
合 計	11, 113 (131)	10,933 (131)	10, 891 (130)	10, 702 (133)	9,046 (127)	9, 359 (122)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	6, 949 (80)	7,623 (81)	7,681 (81)	7,051 (81)	6,846 (83)	8, 210 (86)
和みデイ	2,832 (21)	2,866 (23)	3,031 (27)	2,625 (24)	2,881 (27)	3,539 (28)
予 防	563 (21)	529 (20)	611 (22)	654 (22)	579 (19)	654 (23)
合 計	10, 344 (122)	11,018 (124)	11, 323 (130)	10,330 (127)	10, 306 (129)	12, 403 (137)

※単位:千円

※() は利用者登録数

- 〇令和4年度 喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み及び喜連西小規模多機能型 居宅介護施設ゆたかスローガン
- ~ 住み慣れた地域で、その人らしい生活が継続出来る様に~
- ・「共感・共有」を大切に、寄り添った支援に努める。
- ・「共に楽しく、共に笑顔で」強い絆で一致団結。
- ・「報告・連絡・相談」を確実に。

○喜連西デイサービス・喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか行事報告書

令和4年			
4月25日	春の特別昼食会	担当	安部・山下
5月 3~			
6 日	菖蒲湯	担当	安部
5月24日	ご当地祭り(高知よ	さこい	(祭り)
		担当	安部・長冨
6月29日	みんなで人間すごろ	<	
		担当	喜安・鈴木
7月 7日	七夕撮影	担当	安部
7月14日	ご当地祭り(仙台七	:夕まつ))
		担当	安部・大西
10月27日	運動会	担当	鈴木・安部・長冨
11月25日	秋の音楽会	担当	安部・松永
12月23日	餅つき大会	担当	長冨
12月23日	クリスマス会	担当	喜安
12月21~			
25日	柚子湯	担当	安部
令和5年			
1月24日	新年会	担当	喜安・松永・安部
2月 3日	節分	担当	松永・安部
3月 3日	ひな祭り	担当	山下・長冨・安部
3月27~			
4月 1日	お花見散策	担当	安部・大西

※その他、随所でサプライズおやつの提供や、写真撮影会、近隣散策活動を実施。

◎喜連西ケアプランセンター

○総括

令和4年度においても年間利用者延べ人数は昨年度よりも増加となっている。体調不良にて入院となった方が多く、その後体調が改善せずに他界された方、施設入所となった方等もおられたが、他事業所との協働・家族様との連携に加え、地域住民の力を借り自宅での生活が継続できておられる方も数多い。そのような方が増えるよう、事業所内での検討や情報共有を常に行い、その成果もあり、利用者増加に繋がっていると思われる。

次年度においても医療・介護・地域包括や地域住民と協働し利用者様が出来るだけ長く 自分らしく、満足のいく生活の継続が出来る様、自立に向けた支援に努め、更に地域に必 要とされる事業所を目指す。

○年間目標について

① 利用者様本位のサービスの充実

住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように、心身の状況・利用者様の取り巻く環境を常に確認しながら、同じ目線で共に考え、利用者様の選択に基づいたサービスに繋げる事が出来た。その結果生活状況が改善された方が多くみられている。また、困難事例においても職員全員で共有し、いつでも対応出来るように心がけ、利用者様や家族様の不安を取り除き、信頼関係の構築もできている。今後においても継続して実施していく。

② 介護支援専門員としての資質・専門性の向上

自立支援に向けた質の高いケアマネジメントを実践するため、定期的に事業所内での研修を実施するとともに外部研修にも積極的に参加し、その後は必ず普及研修を実施する事で職員全員の知識となった。また、個別目標を立て、各自が主となり研修を実施し、さらに自己研鑽に努めた。今後においても苦手な分野を改善すべく自己研鑽に努める。

③ 事業所としての資質向上

特定事業所として積極的に困難ケースを受け入れ、定期的なカンファレンスを行い事業所全体で支援の取り組みを行った。また、他法人とのケース会議にも参加し、多様な地域課題や情報をもとに事業所で共有し、地域全体のケアマネジメントの質の向上に貢献出来るように務めると目標を掲げて、一年間邁進して来たが、スムーズに支援出来た事も有れば、力不足な点もあり、まだまだ前途多難な部分もある。しかしながら、事業所一丸となり、また、地域の他の事業所との連携を図りながら、今後も研鑽に努め、資質の向上を図りたい。

④ 情報共有・連携強化に努める

・職員との連携と職場作り

事業所内において「相談しやすい環境」を意識し情報共有に努めた。職員同士が互いにフォローしあえるよう、報告 連絡 相談を常に行うことで、自身の担当以外の利用者様の把握ができ、職員間での信頼関係も年々深まっていると確信している。次年度においても維持・継続できる環境作りに努める。

・地域包括支援センターとの連携

当年度においても困難事例等を積極的に受け、共有しながら事例の解決に至ったケースは多数あった。事例解決後も報告を怠らず、関係性の維持ができている。次年度においても包括への報告や連絡等を常に行い、今まで以上に信頼していただける事業所を目指す。

協働連携

訪問介護や通所介護等からの連絡や情報提供をもとに利用者様の新なニーズを抽出し、サービスの見直しを行うことで在宅生活がより充実するように心がけた。その後についても情報を共有することで結果、入院や入所になることなく在宅生活が継続でき、利用者様や家族様に喜んでいただくことができている。今後においても地域に頼られる事業所となるよう協働連携を行っていく。

・医療との連携

医療ニーズの高い利用者様も年々増えてきている。早急な対応を求められる事が多く、医療・介護をつなぐ役目として、今までの経験を活かし、また、新たに必要とされる知識や対応策を学びながら実施できた。今後においても役割分担を明確化し、医療連携の強化に努める。

⑤ 安定した事業経営

各地域包括やオレンジチーム、病院からの依頼も多くあった事や、利用者様の同居の 家族様のニーズが増大したケース等も多くあり、今年度の担当ケースは職員が増員し た事もあり予防も含め、一か月平均230件となった。次年度おいてもさらに多くの 依頼があるよう、事業所の体制を整え、情報を伝えていき、月平均240件を目指す。

⑥ 経費削減対策を強化

必要以上の事務用品の使用や、印刷ミス・その他無駄がないように各職員がそれぞれ 意識を高め実施出来ている。

⑦ 感染予防対策の徹底

新型コロナの蔓延により感染予防対策を職員はもちろんであるが、利用者様や家族様にも呼びかけを実施した。その成果はあり、職員においては業務への支障なく実施できている。利用様においても重篤化することなく在宅生活を継続できている。今後においても継続して危機感を持ち感染予防対策の徹底に努める。

⑧ 防災への取り組み

事業所内で各地域の避難場所の把握に努め、利用者様宅への訪問時に、利用者様自身での防災への取り組みや認識に対して確認し助言を行うようにしている。また、ひとり住まいの方も多く、家族様への確認し対応について検討を進めている。

自分自身にも何ができるのか、何をしておくべきなのかを常日頃より考え行動し、地域と助け合える関係性を築いていくよう努める。

⑨ 情報管理の徹底

個人情報の取り扱いについては、目的の範囲内で最小限に努め、情報提供の際には再 度利用者様やその家族様に確認を行っている。

今後もより一層、管理の徹底に取り組んでいく。

⑩ 苦情・要望への対応

当年度においては昨年度よりも苦情・要望の対応件数が多くあった。中には長期の期間を要した事案もあったが、相手の立場に立ち、理解し、他の事業所からの助言をいただきながら真摯に対応した事でご理解いただくことが出来た。今後においてもサービスの改善・向上に活かせるように努める。

○年間推移表(前年度との比較)

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3, 332 (187)	3,400(192)	3, 422 (193)	3, 443 (194)	3, 584 (197)	3, 435 (193)
予防	81 (19)	98 (21)	94 (22)	85 (20)	81 (19)	81 (19)
区分変更	(5)	(2)	(1)	(5)	(7)	(3)
合計	3, 414 (206)	3, 499 (213)	3, 516 (215)	3, 529 (214)	3, 584 (216)	3, 517 (212)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3, 377 (189)	3, 306 (185)	3, 334 (186)	3, 317 (184)	2, 937 (165)	2,980 (167)
予防	134 (16)	72 (17)	82 (18)	84 (19)	119 (23)	115 (24)
区分変更	(4)	(2)	(7)	(1)	(2)	(5)
合計	3, 446 (205)	3, 379 (202)	3, 417 (204)	3, 401 (203)	3, 057 (188)	3,096(191)

• 令和 4 年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	3,314(184)	3,310(186)	3, 394 (190)	3, 649 (202)	3, 577 (202)	3,619(200)
予防	131 (27)	144 (30)	124 (29)	115 (27)	132 (30)	131 (29)
区分変更	(8)	(6)	(5)	(2)	(5)	(10)
合計	3, 44 (211)	3, 499 (216)	3, 518 (219)	3, 764 (229)	3, 709 (232)	3, 750 (229)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 介護	10月 3,686(206)	1 1月 3,766(211)	1 2月 3,689(208)	1月 3,616(202)	2月 3,860(214)	3月 3,919(220)
					1 1	
介護	3,686 (206)	3, 766 (211)	3, 689 (208)	3, 616 (202)	3, 860 (214)	3, 919 (220)

※単位:千円

※() は利用者数

- ○令和4年度 喜連西ケアプランセンタースローガン
- ・利用者様の立場に立って、いつも笑顔と真心支援
- ・ふれあい・助け合い 絆が作る地域の「和」
- ・皆で考え、皆で行動 連携強化で情報共有

○令和4年度 外部研修

開催日	演題 議題(主催者)	実施内容	出席職員
6月 8日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	いつまでも自立した生活を送る為に 情報提供・集いの場マップ	長原 西村
7月20日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	検討会議おいて検討した事例の周知及び講 義	河本
9月13日	ブロック交流会	実地指導 今更聞けない疑問点 今後のブロック活動について	河越
11月12日	平野区介護保険事業連絡会 学術研究会	医療の立場から新型コロナウイルス感染症 対策を振り返る	松本 長原
11月30日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	パーキンソン病と自主トレーニング指導に ついて 事例の周知	河本
12月21日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	高齢者虐待を防ぐには! 虐待を防止するケアチーム形成について	西村
1月24日	平野区在宅医療介護連携室 相談支援室からの情報提供	在宅医療・介護連携室相談支援室のご案内 在宅医療・介護連携相談支援室活動報告会 のご案内	河本
1月25日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	「事例から見た膝変形性関節症の注意点に ついて」事例の周知	河越
1月28日	平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(るんるんネット)専門職対象研修会	「医療現場における意思決定支援について」 「認知症のご本人の意思決定支援を支える ために、各専門職に求められる役割と各専 門職ができること」	松本
2月 8日	平野区介護保険事業者連絡会居宅支 援部会 研修部	ケアマネジメントに運営指導を生かそう ~令和4年度からの変更点を中心に~	河本
2月22日	平野区自立支援型ケアマネジメント 小会議 (各地域包括支援センター)	2月の自立支援型ケアマネジメント検討会 議において検討した事例の周知及び講義	松本
2月24日	令和4年度地域支援者交流会	各包括支援センターの取り組みについて ヤングケアラー、高齢者運転免許証返納、 地域資源等々について意見交換	長原

◎ 喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

○総括

年度初めは、登録数11名でのスタートだったが、一般デイからの移行にて3名、和みデイから1名が加わった。一方、施設入所にて3名、入院2名、逝去2名があった為、年度末では10名となった。当年度においても、利用者の日常生活の自立度が低下による施設入所希望の方もいる中で出来るだけながく在宅生活が継続できるよう、利用者本人、家族、主治医と連携を取りながら、ニーズに沿った通い日数や時間、訪問回数、泊り回数の増加を検討し実施している。

通いサービスでは、新型コロナウイルスの影響で様々な制限がある中、外出援助や外出 行事は控えたが、その分施設内行事を充実させ、例えば「ご当地祭り」では各地の祭りを テーマに、昼食では豪華な天ぷらやすき焼きなどの提供により五感で楽しんでいただいた りした。レクレーションでは四季折々の壁画やカレンダー作り、クラブ活動など密になる ことを避ける工夫をして、皆様に喜んでいただいた。

感染防止の面では、空気清浄機等の購入を前年度以上に進め、手洗い・うがい・手指消毒・換気の強化等の徹底に努めた。

運営推進会議においては前年度同様、新型コロナウイルス感染予防対策として開催は書面にての対応となった。

令和4年度の売上は3,029万円となり、昨年度と比較して1,346万円の減額となった。しかしながらホームページを見る等して、他事業所や家族の方より、新規の問い合わせは増加している。運営面での課題としては、小規模多機能施設にもかかわらず遠方や連泊泊りサービスなどの希望が多く断らざるを得ないケースも多い。さらに当事業所においては、他の同施設に比べ面積的理由等から様々な制約を受けるため、登録人数を多く増やすことはサービス悪化に直結してしまう。令和5年度もこのジレンマを抱えながらも、個々の多様化するニーズにできるだけ対応することができるよう心掛け、利用者様の状況を十分考慮した上で、利用登録者増加を目指していく。

○年間推移表(前年度との比較)

• 令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	4,070 (16)	3, 941 (16)	3,964 (15)	3,453 (14)	3,224 (14)	3,377 (13)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,568 (14)	3,688 (15)	3,614 (15)	3,606 (15)	3,687 (16)	3,564 (14)

令和4年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	2,422 (11)	2,662 (12)	3,136 (13)	3,215 (14)	3,141 (14)	2,669 (13)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	2,350 (11)	2,108 (9)	2,348 (10)	1,912 (8)	1,907 (8)	2,424 (10)

※単位:千円

※()は利用者登録数

○その他

令和4年度の年間スローガン、行事報告関しては、喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和みを参照。

○総括

令和4年度は、業務継続に向けた取り組みと事業所加算取得の体制整備を軸に取り組んだ。

各サービス提供責任者が主な役割分担(身体拘束・虐待防止、個別研修計画策定・業務内容伝達会議、感染・自然災害時の業務継続)を担い、業務内容の見直しを実施。制度の理解を深め、今後取り入れるべき業務の内容、進め方、従業員への周知・実施方法等を各担当者が中心となり、意見を出し合いながら取り組む事ができた。

年間を通し、研修開催時の伝達会議の実施、通院介助報告書や同行訪問報告書における 内容変更、虐待・身体拘束防止委員会の設置、災害・緊急時における持ち出しファイルの 作成など、成果を出す事が出来た。

人員については、登録ヘルパーの高齢化が深刻な問題となっており、ヘルパー全体の稼働時間減少に顕著に表出している。特に夏場は体への負担が大きく、このまま仕事を続けられるのかと不安を抱く者も少なくない。シフト調整などで個々に併せた勤務形態を工夫し、無理なく継続できるよう努めると共に、メンタルヘルス研修の開催や折りに触れて個々をフォローすることでモニベーションを保ち、利用者の為にと、日々取り組む事ができた。年度内には、数名の入職者もありOJTや同行訪問を重ね人材育成に努めている。特に、サービス提供責任者2名が入職し、年度末には従来の体制が整いつつある。

利用者については、毎月コンスタントに新規利用者はあるものの、特に7から8月に特段、入院・入所・中止者が多い傾向が続いている。気温の影響や自宅環境の問題、感染症蔓延など様々な原因が挙げられる中、利用者に必要なサービスの見直しや自宅内の環境整備、ケアマネージャーや家族への提案などを繰り返し行う事でサービス中止者を最小限に留めるよう努めた。

障がい福祉サービスについては、令和4年度より障がい者虐待防止委員会の設置が必須 となり、事業所内でも年間を通し会議を実施し、該当する案件がないか、意見を出し合う 事でスタッフの意識改革につながった。

営業活動については、居宅支援事業所への挨拶回りやチラシの配布などを行い、新規開拓に努めた。新しい事業所とは特に日々の連携を密にとる事で信頼関係を構築し、単発の依頼からサービス量の多い利用者の依頼を受けるまでに至っている。

このような取り組みを重ねる中で、利用者数は増加傾向にあり、前年月比は4月を除き、毎月増収となった。年間の月平均は昨年より約90万円の収益を得る事ができている。しかしながら、目標額には届いておらず次年度の課題としたい。

次年度においては、今年度の取り組みを実用化し更なる体制の整備、事業所加算の取得 に向けて取り組んでいく。

○年間推移表(前年度との比較)

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	6, 973 (99)	6,820 (101)	7,029 (104)	6,875 (102)	6, 206 (97)	6,097 (97)
予防	1, 375 (68)	1, 405 (71)	1,435 (71)	1,429 (72)	1, 441 (72)	1,442 (74)
総合支援	1,827 (37)	1,774 (37)	1,841 (37)	1,692 (34)	1,698 (33)	1,632 (33)
保険外	31 (34)	50 (24)	36 (19)	49 (21)	25 (15)	48 (20)
合計	10, 208 (238)	10, 051 (233)	10, 342 (231)	10, 047 (229)	9, 371 (217)	9, 221 (224)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1 0 月 6, 245 (95)	1 1 月 6, 382 (98)	12月 6,593 (100)	1月 6,028 (98)	2月 6,085 (97)	3月 6,573 (97)
介護	6, 245 (95)	6, 382 (98)	6, 593 (100)	6,028 (98)	6, 085 (97)	6, 573 (97)
介護 予防	6, 245 (95) 1, 412 (72)	6, 382 (98) 1, 440 (72)	6, 593 (100) 1, 434 (72)	6, 028 (98) 1, 436 (72)	6, 085 (97) 1, 496 (75)	6, 573 (97) 1, 457 (73)

• 令和 4 年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	6, 964 (103)	7, 252 (106)	7, 333 (110)	7,699 (111)	8, 199 (107)	6,821 (107)
予防	1,463 (75)	1, 449 (73)	1,499 (71)	1,474 (74)	1, 438 (74)	1,412 (72)
総合支援	1,718 (34)	1,711 (31)	1,691 (31)	1,683 (34)	1,629 (34)	1,669 (34)
保険外	36 (14)	50 (19)	37 (13)	45 (23)	47 (28)	51 (24)
合計	10, 184 (226)	10, 464 (229)	10, 561 (225)	10, 903 (242)	11, 314 (243)	9,954 (237)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	7,010 (104)	6, 998 (102)	7, 242 (106)	6, 533 (108)	6, 740 (110)	6,875 (114)
予防	1, 453 (74)	1, 417 (73)	1, 453 (74)	1,442 (72)	1,426 (73)	1, 427 (73)
総合支援	1,664 (32)	1,553 (33)	1, 481 (34)	1,430 (33)	1,402 (34)	1,610 (33)
保険外	51 (28)	28 (15)	49 (24)	53 (28)	41 (24)	42 (26)
合計	10, 180 (238)	9,999 (223)	10, 226 (238)	9,460 (241)	9,610 (243)	9,955 ((246)

※ 単位:千円

※() 内は利用者登録数

- ○令和4年度 ゆたか訪問介護ステーション及び障がい者相談支援センターゆたかスローガン
- ・みんなキラキラ みんなイキイキ みんなでニコニコ
- ・ゆたかの魅力を発信し「ゆたかさんめっちゃいいで」をひろめよう。
- ・笑顔と元気な挨拶。やると決めた事を先延ばさず結果を出す。

○令和4年度 研修会

事業所内研修については前年度に引き続き、オンラインと少人数参加型で実施した。ヘルパー研修

- 4月 排泄介助と着脱介助の実技演習(担当:永井)
- 6月 アンガーマネジメント(担当:星里)
- 8月 高齢者・障がい者虐待防止と身体拘束について(担当:永尾)
- 10月 個人情報とプライバシー保護(担当:近藤)
- 12月 感染症対策について(担当:永井)
 - 3月 接遇をみなおそう(担当:星里)

○令和4年度 業務伝達会議

- 12月 通院介助報告書の記載内容について
 - 3月 同行訪問報告書の記載内容について

◎障がい者相談支援センターゆたか

○総括

令和4年度は登録人数68名で開始した。指定特定相談支援及び指定障がい児相談支援として、前年に続き役所関係の手続きの迅速化と、利用者のニーズにあった支援体制の構築に努めた。また、他の障害福祉サービスの事業所については、新規の利用者に関するやり取りを通じて、いくつかの事業所と関係が出来た。

令和4年度の事業の傾向としては、平野区子育て支援課からの依頼が増えたこともあり、母子世帯で障がい者の母親と障がい児の息子・娘を一緒に担当することが多くなった。基幹相談センターからは単身生活の精神障がい者、子育て支援課からは母親の精神障がい者と療育の子どもの組み合わせの依頼が多かった。

年間を通して、売り上げ目標は達成できた。登録者は、年度末時点で12名増加し、計80名となった。

○年間推移表(前年度との比較)

令和3年度

17 111 9 1 2						
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	100 (6)	116 (7)	73 (4)	135 (8)	200 (12)	124 (7)
モニタリンク゛	373 (27)	402 (29)	400 (29)	345 (25)	331 (24)	363 (26)
登録者数	(62)	(61)	(61)	(63)	(64)	(65)
合計	473 (33)	518 (36)	474 (33)	480 (33)	532 (36)	487 (33)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	57 (3)	171 (10)	83 (5)	150 (9)	103 (6)	121 (7)
モニタリンク゛	387 (28)	372 (27)	376 (27)	360 (26)	441 (32)	404 (29)
登録者数	(65)	(65)	(66)	(67)	(68)	(68)
合計	445 (31)	544 (37)	460 (32)	510 (35)	545 (38)	526 (36)

令和4年度

17月日 1 /文	•					
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	209 (12)	70 (4)	136 (8)	185 (11)	83 (5)	68 (4)
モニタリンク゛	387 (28)	470 (34)	346 (25)	386 (28)	514 (37)	321 (23)
登録者数	(70)	(70)	(72)	(73)	(74)	(75)
合計	597 (40)	541 (38)	483 (33)	572 (39)	598 (42)	390 (27)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	116 (7)	66 (4)	150 (9)	136 (8)	150 (9)	121 (7)
モニタリンク゛	375 (27)	430 (31)	360 (26)	345 (25)	473 (34)	360 (26)
登録者数	(75)	(75)	(75)	(76)	(76)	(80)
合計	492 (34)	497 (35)	510 (35)	481 (33)	623 (43)	482 (33)

※ 単位:千円

※()内は当月に稼働した利用者数

○その他

令和4年度の年間スローガン、行事報告関しては、ゆたか訪問介護ステーションを参照。

◎平野区喜連地域包括支援センター

○総括

当センターが開設し12年目となった。事業については昨年度同様新型コロナウィルスの影響が大きく、主に市民向けの研修や行事が一部中止になったが、インターネットを活用した研修・会議の開催が一般的な形式になった。

1. 公平且つ中立的な業務の運営確保

平野区地域包括センター運営協議会に運営状況を報告し承認を得るとともに、委員よりでた意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保している。

- 2. 地域包括ケアの推進について
 - ①認知症総合支援事業との連携
 - ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
 - ・専門職向けの研修会はオンラインで講演とグループディスカッションを実施した。 市民向けには認知症の啓発 DVD の作成し配布したが、講演会はコロナ感染症の予防の ため中止となった。
 - ・ひらのオレンジチームとは Youtube にて、認知症に関連した動画の発信を協力して行った。また、そのチラシを作成し地域住民、専門職へ周知を図った。
 - ・新たな周知活動と称して、高齢者以外の若い世代へのセンター周知について、一緒に 検討し、インスタグラムの活用を推進した。
 - ②在宅医療・介護連携推進事業との連携について
 - ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
 - ・平野区居宅介護支援部会第3ブロック交流会にて事業の周知を図ってもらった。
 - ③生活支援体勢整備事業との連携
 - ・定期的に会議を持ち情報共有や意見交換を行い、顔の見える環境づくりができた。
 - ・生活支援体制整備事業へ参画し、有償・居場所づくり活動プロジェクトチームの一員 として事業の推進に協力した。
 - ・地域の集いの場について情報共有し、課題解決に向け連携した。
 - ・喜連西・喜連地域の新たな社会活動の場づくりのための会議に参画し、協力・連携した。
- 3. 総合相談業務

タイムリーにブランチと情報共有し、各関係機関と連携しながら業務にあたった。また、 広報掲示板や SNS を活用し相談窓口の周知をした。

- 相談実人員 906人(うち認知症疑い 295名)
- ・延べ相談件数 9,374件(うち認知症疑い4,395件)
- 4. 当センター単位で実施する包括的・継続的ケアマネジメント
 - ・平野区介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会の事務局としてサポートした。ブロック別交流会に関しては2回集合型での開催をサポートした。

- ・地域支援者交流会を開催し、地域の介護支援専門員や地域福祉活動コーディネーター、 障がい支援機関とのネットワークの強化を図った。
- ・地域のインフォーマルサービスをまとめ一覧を作成し、介護支援専門員を中心に情報 提供した

5. 権利擁護業務

- ・平野区役所やブランチと協働し、高齢者虐待の早期解決にむけ協働した。また、平野 区内の地域包括支援センターと合同で介護支援専門員に対して高齢者虐待予防研修を 開催した。
- ・地域の介護支援専門員に対して、悪質な訪問販売等の情報提供や注意喚起を行った。
- ・成年後見制度の早期活用に向け、介護支援専門員と連携し情報提供等支援を実施した。

6. その他の事業等

- ・ポレポレ体操は、感染症対策をしながら開催と中止を繰り返した。中止の際は Youtube にて体操の動画を配信した。
- ・認知症カフェはコロナウィルス感染症予防のため中止とした。代替として Youtube で認知症関連した動画を配信した。
- ・車いすの貸出事業を継続し、そこからの介護相談や支援につなげたケースもあった。
- ・パソコン1台故障のため、買い替えを行う。

7. 介護予防支援事業について

平野区自立支援型ケアマネジメント検討会議・小会議を他圏域の地域包括セインセンターと協力して開催し、地域のケアマネジャーに対して自立支援型ケアマネジメントの理念や意義を伝達した。

○年間推移表【予防ケアプラン】 (前年度との比較)

• 令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1, 289 (260)	1, 318 (266)	1, 310 (260)	1,301 (263)	1,318 (265)	1, 343 (269)
委託プラン	244 (372)	249 (366)	230 (359)	238 (369)	225 (352)	251 (363)
合計	1,533 (632)	1,567 (632)	1,540 (619)	1,539 (632)	1,543 (617)	1,594 (632)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 包括プラン	1 0月 1,278 (260)	1 1月 1,275 (259)	1 2月 1,300 (260)	1月 1,273 (258)	2月 1,250 (251)	3月 1,250 (254)

• 令和 4 年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
包括プラン	1, 229 (249)	1, 225 (242)	1, 208 (246)	1, 218 (246)	1, 213 (245)	1, 194 (239)
委託プラン	248 (373)	276 (382)	260 (371)	245 (366)	247 (365)	255 (355)
合計	1, 477 (622)	1,501 (624)	1,468 (617)	1,463 (612)	1,460 (610)	1,449 (594)
月	1 0 🗆	4 4 🖽	100	- H	0.11	
Л	10月	11月	12月	1月	2月	3月
包括プラン	1 0 月 1, 177 (235)	1,190 (232)	1 2 月 1,140 (230)	1 月 1,140(232)	2月 1,130 (230)	3月 1,200 (239)
		, ,				

※単位:千円

※()は利用者登録数

○令和4年度 平野区喜連地域包括支援センタースローガン

- ・専門職・地域支援者のネットワークを広げ、深めていく取り組みを積極的に進めます。
 - →コロナ禍のため止まっている事業もあり来年度以降もすすめていく。
- ・多様な社会資源を活用し、介護予防の理念に沿ったケアマネジメントを実施します。
 - →来年度継続し、介護保険の理念である介護予防の考え方や多様なサービスより選択し、 自己決定できる支援を目指していく。
- ・周知活動を推進し、誰もが知っているセンターを目指します。
 - →センターを知らない住民の方もまだまだ多く、来年度は就労世代への周知活動に力を いれていく

○研修報告

日時	研修名	場所	参加職員
5月26日	地域福祉研修会	オンライン研修	安井
6月17日	地域包括支援センター管理者研修①	大阪市社会福祉情報研修センター	安井
7月 6日 ~4日間	BCP 作成支援研修	オンライン研修 大阪市立社会福祉センター	松岡
7月15日	地域包括支援センター職員研修基礎①	オンライン研修	中西
7月22日	課題整理総括表作成研修	センター内	全職員
8月 5日	地域包括支援センター職員基礎研修	オンデマンド配信	岩田
8月 5日 ~3日間	高齢者虐待対応現任者研修	大阪府社会福祉会館	岩田
8月15日	地域包括支援センター職員基礎研修②	オンライン研修	小倉
9月22日	地域包括支援センター職員研修基礎②	オンライン研修	中西
10月19日	個人情報保護研修	オンライン研修	全職員
11月10日	大阪市在宅医療・介護連携推進事業研修会	中央区民センター	中西
11月15日	地域包括支援センター管理者研修②	大阪市研修・情報センター	中西
11月18日	地域包括支援センター発展研修	平野区民センター	中西
11月22日	小地域福祉活動計画の策定研修	クレオ大阪南	安井
11月30日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	オンライン研修	西尾
11月30日	高齢者虐待対応中堅期研修	天王寺区民センター	岩田
12月21日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議・虐待 予防研修	オンライン研修	谷本
1月16日	地域包括支援センター課題別研修	オンライン研修	安井
1月19日	地域づくり加速化事業ブロック別研修	オンライン研修	安井
1月25日	平野区自立支援型ケアマネジメント小会議	オンライン研修	松本
1月31日	権利擁護支援の地域ネットワークにおける成年 後見制度利用促進研修	大阪市研修・情報センター	小倉
3月 6日	相談支援機関の連携・協働のための研修	オンライン研修	岩田
3月29日	防災シンポジウム	オンライン研修	松岡

[※]すべての研修について、普及伝達を実施した。

○総括

令和4年度においては、『ご入居者様、ご家族様に満足して頂く』を目標に、入居者と職員が共に喜びのある時間を過ごせるよう、様々な取り組みを行ってきた。

7年目を迎える中、昨年と同様に新型コロナウイルスの流行により、外出行事の自粛を行ない、施設内行事へと変更した。また、ご家族様の面会についても施設内感染の予防に努め、制限を設けるなど、ご入居者様、ご家族様にご不便をおかけする形となった。そんな中、入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADLの低下など、様々な問題と直面しながら、適宜業務マニュアルの改善、サービス内容の変更、介護ロボットの運用、入居者の状況に合わせたケアが提供できるよう、職員会議を開き検討してきた。日常生活の変化に柔軟に対応し、その時、その人に何が必要か、【その人らしい、自分らしさ】を真剣に考え対応してきたと言える。

外出が出来ない状態が続く中、どのような事が入居者の楽しみにつなげる事が出来るのか、職員と入居者が一緒になって共に楽しく過ごせる時間を作るにはどうすれば良いかなどを検討し、毎週にわたり行事や取り組みを行っている。又、コロナの感染状況に合わせ、外出ツアーを外食のみに変更するなど、ご入居者様への楽しみへの提供を行った。

人員に関しては、正職員やパート職員の退職もあり、新規職員の受け入れを実施しながら都度、対応を重ねている。適宜実施した職員研修では、様々な内容を取り上げ職員のスキルアップにつなげる事ができた。

ハード面では常時、設備の安全点検を実施しながら、定期的な専門業者による点検や修理、備品の整備等を行っている。昨年度より導入した介護ロボットの活用により、職員間のスムーズな連携や、眠り SCAN による睡眠状態を確認できるようになった。更にこれにより、ご入居者様の睡眠の状態が悪い方については、日中の運動量を増加するなどの具体的な対応を図る事が出来るようになった。

災害対策としては防災・消防訓練を実施する事で、職員・入居者共に、防災等への意識付けができ、いざという時の対応について研鑽している。

このような取り組みを行う中で、特に入居者が激減する事もなく満床に近い状態を維持 しながら運営する事ができたといえる。

施設での暮らしにおいては、日常生活がいかに安全で安心した毎日であるか、また日々の生活の中で、入居者個々が自分らしい楽しみを見つける事ができる環境であるか、が大事だと考える。次年度に向けては、入居者に、より充実した毎日を過ごして頂けるよう、外出機会の確保やレクレーションの充実等、満足度の高い安心・安全な暮らしを提供できるよう職員が協力しあいながら運営していきたい。

○年間推移表(前年度との比較)

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	31 名	30名	30名
介護保険	7, 280	7, 358	7, 030	7, 338	7, 378	7, 141
家賃等	4, 961	4, 988	4, 953	4, 926	5, 062	4, 999
合 計	12, 241	12, 346	11, 983	12, 264	12, 440	12, 140
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 入居者数	10月 30名	11月 30名	12月 30名	1月 30名	2月 30名	3月 30名
入居者数	30 名	30名	30名	30名	30名	30 名

• 令和 4 年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	30名	30名	30名	30名	30名
介護保険	7, 181	7, 679	7, 360	7, 638	7, 630	7, 304
家賃等	5, 028	4, 891	5, 012	5, 018	4, 916	4, 888
合 計	12, 209	12, 570	12, 372	12, 656	12, 546	12, 192
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 入居者数	10月 30名	11月 30名	12月 29名	1月 30名	2月 30名	3月 29名
入居者数	30名	30名	29名	30名	30名	29名

※単位:千円

※入居者数は短期利用の方も含む

- ○令和4年度 介護付有料老人ホームゆたかスローガン
 - ~初心を忘れずに~
 - ・相手の気持ちになって考えよう
 - ・丁寧な言葉使いを身に付けよう
 - ・報連相(報告・連絡・相談)でチームケア
 - ・みんなで作ろう 楽しい職場

○ボランティア受け入れ

新型コロナウイルス流行により、外部の方の受け入れ中止 コロナウイルス流行により、ポイント事業によるボランティアは中止

○施設内研修·施設外研修

虐待防止、身体拘束廃止について
認知症および認知症ケアについて
介護予防及び介護度進行予防について
虐待防止、身体拘束廃止について (新任)
接遇について
虐待防止、身体拘束廃止について (新任)
緊急時の対応について
虐待防止、身体拘束廃止について (新任)
介護職の言葉使いについて
感染予防及び感染予防訓練
BCP (感染) について
プライバシー保護と個人情報保護について
BCP (災害) について
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について
倫理及び法令厳守について
虐待防止、身体拘束廃止について
事故発生又は、事故再発防止について

○施設内行事·施設外行事

月	日	施設内行事・施設外行事
4 日	13	春のお楽しみ会 ※お花見の代替え
4月	20	消防訓練
	3 · 4 · 5	しょうぶ湯
5月	22	お楽しみ会 わくわくパフェづくり
	22	※外出ツアーの代替え
	1	おやつ作り チョコバナナ
6月	19	カラオケ大会
	25	お楽しみ会 豪華昼食会(お弁当) ※外食ツアーの代替え
7月	7	七夕まつり
	20	アイスコーヒーの日
	3	かき氷フェスタ
8月	17	アイスコーヒーの日
	24	夏祭り たこせん作り体験
9月	21	敬老会
1.0.8	12	消防訓練
10月	19	運動会
11 日	9	おやつ作り バナナジュース
11月	16 · 17 · 18	秋の外食ツアー 華かんざし ※外出ツアーの代替え

12月	14	おやつ作り ベビーカステラ
	21	クリスマス会
	22 · 23 · 24	ゆず湯
	23	餅つき大会(喜連西デイサービス)
	23	買い物ツアー シャトレーゼ買い物
	25	クリスマスケーキ作り
1月	1	お正月 書初め
	7	初詣
2月	3	節分 ぜんざいの日
	15	おやつ作り ポップコーン作り
3月	1	ひな祭り
	15	防災訓練

その他:ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

○職員の概要

- ·常勤職員 15名(令和 4年 4月 1日時点)
- ・パート職員 8名(令和 4年 4月 1日時点)

○入居者様の概要

- · 入居者数 29名/30名(令和 5年 3月31日時点)
- ・平均介護度 3.6 (令和 5年 3月31日時点 要支援者除く)
- ・平均年齢88歳(令和 5年 3月31日時点)

◎カリーノ保育園

○総括

令和4年度は年間平均104名(障がい児3名を含む)の在園児数となる。新型コロナウイルスの影響もあってか、0歳児の4月入所が例年に比べると少なかったが、役所と密に連絡を取り合い待機児童の状況等、情報を得る中で、入園に繋げていくことができた。

年々、年齢別園児数のバランスが安定してきているので、安定した運営を行うことができた。

保育面では、前年度に続き新型コロナウイルスの影響で従来通りのやり方では難しいものばかりとなったが、状況に応じてやり方や感染対策を徹底しながら、実施できたものもあった。運動会は、3年ぶりにコミュニティプラザ平野(平野区民センター)を使用して開催することができた。2~5歳児クラスのみの参加と規模の縮小はあったものの、大きな舞台での発表は、子ども達の心身の成長を感じてもらえることができた。0・1歳児クラスについては園内で撮影を行い、DVDに収録して各家庭に配布、また保育参加で実際に子ども達の運動遊びの様子を見てもらうことで保護者の方に喜んでもらうことができた。また、クッキング保育を主とした食育活動は旬の食材に触れ、実際に自分たちで調理することで、作る楽しさや面白さはもちろん大変さもあることに気付くことができる体験となった。子ども達だけでなく、保護者からも好評であった。

社会体験では、スーパーへ行き31アイスクリームを選んで購入するという「自己選択」 の体験ができ、また公共施設でのマナーやルールも学ぶことができた。

特別保育(英語・HIPHOP・学習・お菓子作り)では子ども達が積極的に取り組む中で、多くの刺激や学びがあり、子どもたちの中に「できた!」「楽しい!」という感覚が芽生え、心身共に成長する姿が見られた。

保護者支援として、前年度に引き続き行事やイベントの際はよりリアルに子ども達の様子が伝えられるように、活動風景を撮影したものの掲示を行なった。降園時などにそれらのものを目にすることで「今日はどんなことをしたか」親子で話ができるきっかけとなり、保護者の方に保育園での活動を身近に感じてもらえるようになった。

地域交流として、新型コロナウイルスのため園庭開放を控えていたが、「ホームページを 見て園見学を希望しました」とホームページの更新を通して当園に興味を持ってもらうこ とができた。

今後の課題として、保育士確保が年々困難になってきている。保育実習(高校、短大等) やボランティア等を通じて、早い段階からアプローチを行い、保育士養成校、ハローワー ク等とより連携を深め、人材確保、人材育成に努めていきたい。

又、コロナ禍で行事の在り方等の見直しを行なってきたので、「これまでと同じ」ではなく「新たな方法」で子ども達が豊かな経験をできるように記憶に残る体験を企画し、イベントや活動を通して、カリーノ保育園だからできる実体験を大切にし、生きる力を育んでいく。

今後も引き続き動向を見据えながら当園児の年齢バランスを考え、保育園を安定維持できるように努めたい。

○園児数推移

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ()	11()	11()	11()	11()	11()
1歳児	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	16 ()	16 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21 ()	21()
4歳児	18 (1)	18 (1)	18 (1)	18 (1)	19 (1)	19 (1)
5歳児	22 (1)	22 (1)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)
合 計	103 (2)	104 (2)	105 (3)	105 (3)	106 (3)	106 (3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 0 歳児	10月	11月	12月	1月	2月	3月11()
0 歳児	11()	11()	11()	11()	11()	11()
0歳児	11()	11()	11()	11()	11()	11()
0 歳児 1 歳児 2 歳児	1 1 () 1 6 () 1 7 ()	1 1 () 1 6 () 1 7 ()	1 1 () 1 6 () 1 7 ()	1 1 () 1 6 () 1 7 ()	1 1 () 1 6 () 1 7 ()	1 1 () 1 6 () 1 7 ()
0歳児 1歳児 2歳児 3歳児	11() 16() 17() 21()	11() 16() 17() 21()	11() 16() 17() 21()	11 () 16 () 17 () 19 (1)	11() 16() 17() 20(1)	11() 16() 17() 20(1)

令和4年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	6 ()	8 ()	10 ()	11()	12 ()	12 ()
1歳児	15 ()	16 ()	15 ()	16 ()	16 ()	16 ()
2歳児	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()	17 ()
3歳児	21 ()	21 ()	21 ()	21()	21 ()	21 ()
4歳児	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	19 (1)
5歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)
合 計	98 (2)	101 (2)	102 (2)	105 (2)	106 (3)	105 (2)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 0歳児	10月	11月	12月	1月	2月	3月12()
0 歳児	12()	12()	12()	12()	12()	12()
0歳児	12()	12()	12()	12()	12()	12()
0歳児 1歳児 2歳児	1 2 () 1 6 () 1 7 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 ()
0歳児 1歳児 2歳児 3歳児	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 ()	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 (1)	1 2 () 1 6 () 1 7 () 2 1 (1)

※単位: 名

※() 内は障がい児

	園児数	令和 4年度 年 間 行 事		
4月	98人	入園式	異年	丰齢保育開始
5月	101人	こいのぼりの集い・春の遠足(5歳児)<天王寺動物園>、(4歳児)<久宝寺緑地>、(3歳児)<長居公園>・カレーパーティー(5歳児 松原園合同)・検尿		
6月	102人	運動会(2~5歳児)・運動会(0・1歳児 園内でビデオ撮影)・保育参加・ブラッシング指導・内科検診・ 歯科検診・4歳児訪問事業(平野区役所、絵本の読み聞かせ)		
7月	105人	プール開き・おもちゃ花火教室(5歳児)・クッキング保育(5歳児 松原園合同) 保育実習く城南学園高等学校2年>・救命講習(中止)・保育実習く甲南女子大学>		
8月	106人	プール終了・保育実習<相愛大学>		
9月	105人	保育実習く大阪芸術短期大学>・出前ミニ講座園内研修(みんなで取り組む事故予防)		
10月	105人	ハロウィン・お泊り保育(5歳児 松原園合同)<大阪市立信太山青少年野外活動センター> 園外保育(2歳児)<中央公園>、秋の遠足(3・4歳児)<天王寺動物園> 職場体験<摂陽中学校2年>		
11月	105人	キウイ収穫・さんま&焼き芋パーティー(5歳児)・絵本読み聞かせ(チャイルド社)		
12月	105人	発表会・保育実習<城南学園高校1・3年>・ちゃんこ鍋パーティー(4・5歳児)・内科検診・クリスマス会・年末年始休園		
1月	106人	保育始め		3歳児お昼寝順次終了
2月	106人	節分豆まき・クリーンアップ作戦(4・5歳児) 手洗い指導・保育参加 保育実習<大阪芸術短期大学>・保育実習<城南短期大学>		
3月	106人	ひなまつりの集い・からあげクッキング&31アイスクリーム(5歳児)・お別れ遠足(3・4・5歳児 松原園4 〈京都水族館〉・卒園式(5歳児)・喜連西小学校学校探検(5歳児) 買い物ごっこ(5歳児)・保育実習〈大阪芸術短期大学〉・お弁当保育(0・1・2歳児)・ お別れ会(3・4・5歳児)	今同) /

その他の活動

英語遊び週5回(外国語講師)学習遊び週2回

 学習遊び
 週2回

 ヒップホップダンス
 月4回

 おやつ作り
 月1回

 サッカー教室
 月1回

 巡回指導
 月1回

避難訓練月1回担当 髙山・髙橋世代間交流年3回程度喜連西デイサービス担当 寺崎・倉角

異年齢児保育 月1回程度 お楽しみ会 担当 仲里・大西・髙山・今村 他

保育所体験月1回程度おやつ作り担当 松尾 他随時保育体験担当 西野

◎松原カリーノ保育園

○総括

当年度は、141名(障がい児6名、要保護児童13名を含む)の園児数で始まった。 年度途中の退園児0名、昨年度同様の平均園児数142名に達した。

With コロナを常時念頭におき保育運営を試みた一年であった。しかし新型コロナウイルス感染症の陽性者が判明すると行事を計画していても結果的には延期や縮小の連続であった。特に開催できる時期に偏りがあり違和感を持つこともあったが前年度に比べ子ども達や保護者に寄り添うことができた。

一年間を通して「より安心・安全な保育環境の提供と職員育成の強化」を目標に掲げ、 「保育の質の向上」と「保育士の意識の改善」を目指した。研修はリモートで参加し、計 画通り進めることができた。

当園の特色ある保育の1つに挙げられる食育は、感染症拡大防止のため計画通り進められなかったが、巨大ケーキのプレゼント、3年振りのちゃんこ鍋、卒園パーティーのピザ作りやメッセージ付きクッキー作り、給食を弁当箱に詰めて好きなところで食べる等の取り組みは子ども達にとって印象に残ったようだ。食を通して感動と興味にコネクトし、子ども達、保護者の満足度向上に繋がり保育理念達成に近づいたと感じている。

二大行事の運動会に関しては0・1歳児クラスは園内で、2歳児クラス以上は人数制限のために2部制にして松原第三中学校で開催し、生活発表会は全クラス学年別での発表となった。そのため、0・1歳児クラスは運動会の様子+普段の様子を撮影した DVD を配布したところ「園での様子が見ることができてよかった」「のびのびと遊んでいる姿が可愛い」等の上場の評判を得た。また、2歳児以上クラスは「観覧しやすかった」「来年は観覧人数を3人にしてほしい」等の意見も出たので、中学校の使用条件等を考慮して検討していきたい。保育園生活の最大行事、卒園式は昨年度の開催法を参考に保育証書授与式として開催した。保育証書授与の際に子どもたち一人一人の成長記録をスライドで流すという取り組み等は昨年度に続き大好評だった。行事の開催法や保育の取り組みに関してはこれまで通りではなく、現状を把握し子ども達、保護者、職員とって何が一番良いのかを考案し合い明確化していくことが大切だと考える。

運営上の課題分析として、出生率の低下や産休・育休制度の充実化が進み、更に0歳児の確保が厳しくなっている。現状運営の維持継続をする為には、今、重視されている園内外に向けての保育の可視化が重要であると考える。HP+戦略的な情報発信は勿論、日常的な連絡ノートや記録物の創意工夫が必須であると考える。また、先を見据えて社会情勢に適応できる保育運営形態や新事業の導入等の検討と負となる要素の対応策等の視野を広げた保育運営を心がけ、捻出したい。

令和5年度も141人でスタートできる事は非常にありがたいことである。今後、今以上に、特色ある保育、より丁寧で個々の成長を受け止める保育、子どもの主体性が重視される保育、を柱として業務を継続発展させていく。

○園児数推移

令和3年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	13 ()	13 ()	15 ()	15 ()	15 ()	15 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	25 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)
3歳児	22 ()	22 ()	22 ()	22 ()	23 ()	23 ()
4歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
5歳児	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)
合 計	140 (6)	139 (6)	141 (6)	141 (6)	142 (6)	142 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 0歳児	10月 15()	11月 15()	12月 15()	1月 15()	2月 18 ()	3月 18 ()
0歳児	15 ()	15()	15 ()	15 ()	18 ()	18 ()
0 歳児	15()	15()	15()	15()	18()	18()
0歳児 1歳児 2歳児	15 () 25 () 24 (1)	15() 25() 24(1)	15 () 25 () 24 (1)	15() 25() 23(2)	18() 25() 23(2)	18() 25() 24(2)
0歳児 1歳児 2歳児 3歳児	15() 25() 24(1) 23()	15() 25() 24(1) 23()	15() 25() 24(1) 23()	15() 25() 23(2) 23()	18() 25() 23(2) 23()	18() 25() 24(2) 23()

令和4年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
Л	4 月	3月	0月	7月	0月	9月
0歳児	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()	12 ()
1歳児	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()	25 ()
2歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
3歳児	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)	27 (2)
4歳児	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)	24 (2)
5歳児	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)
合 計	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月 0 歳児	10月	11月	12月 13()	1月 13()	2月 15()	3月 16()
0歳児	13 ()	13()	13 ()	13 ()	15 ()	16 ()
0歳児	13()	13()	13()	13()	15()	16()
0歳児 1歳児 2歳児	13() 25() 26(1)	1 3 () 2 5 () 2 6 (1)	13() 25() 26(1)	13() 25() 26(1)	15 () 25 () 26 (1)	1 6 () 2 5 () 2 6 (1)
0歳児 1歳児 2歳児 3歳児	13() 25() 26(1) 27(2)	1 3 () 2 5 () 2 6 (1) 2 7 (2)	13() 25() 26(1) 27(2)	1 3 () 2 5 () 2 6 (1) 2 7 (2)	15() 25() 26(1) 27(2)	1 6 () 2 5 () 2 6 (1) 2 7 (2)

※単位: 名

※() 内は障がい児

令和4年度 行事報告書

月	園児数			
— / ,	四儿奴	・(縮小)入園式・進級式・各学年クラス会	お	菓子作り(4・5歳児)
		・春の園外保育(3歳児)<第二公園>		
4月	141	(延期)(4⋅5歳児)<大泉緑地>		
','		・お弁当ごっこ(4・5歳児)		
		・地域いちご狩り(5歳児) ・子どもの日の集い		お誕生日会(全クラス)
		・ <u>↑ − − − − − − − − − − − − − − − − − − −</u>	H	のの院エロ女(エノノへ)
		・各学年個人懇談(希望制)・蟯虫検査・検尿・手洗い指導		異年齢保育開始(3・4・5歳児
		・春の園外保育(4・5歳児)<王子動物園>		
	4.44	・クッキング保育(4・5歳児 カツカレー)		
5月	141	・(中止)保育参加 ・(中止)和泉小川いちご農園いちご狩り(5歳児)	\vdash	
		・(中止)交通安全指導(松原警察署来園なし)		
		・(中止)避難訓練(松原消防署来園なし)		
		•(中止)松原第三中学校 職業体験(3名 2日間)	Ш	
		·保育実習(大阪人間科学大学 1名)		
6月	141	・歯科検診・内科検診・ブラッシング指導		
	141	・(中止)中央小学校5年生 職場体験		
		・(中止)田植え(5歳)・(延期)お祭りごっこ	$ \downarrow $	/
7月	141	・七夕の集い・(中止)七タコンサート		
',',	171	・プール開き		
8月	141	・プール遊び ・保育実習(常磐大学 1名)		
		・		
		大阪芸術大学短期大学部 3名)		
9月	141	・お祭りごっこ		
",	'''	·運動会総合練習 (内よ)胃内研修(講解、内内小学技技長)		
		·(中止)園内研修(講師:中央小学校校長) ·(中止)松原第三中学運動会(5歳児)		
		·保育実習(太成学院大学 1名)		
		・(縮小)運動会・各学年クラス会	お	菓子作り(4・5歳児)
		・さつまいも掘り(4歳児)		
10月	142	・秋の園外保育(3・4歳児)<天王寺動物園>		
		・お泊り保育(5歳児 本園合同) ・(中止)松原中学校 職業体験(2人 2日間)		
		•(中止)稲刈り(5歳児)		
		-(中止)サプライズ遠足(5歳児)	Ш	
		·保育実習(常磐短期大学 2名)		
		・絵本読み聞かせ ・(中止)松原第二中学校 職場体験		
		・(中止)位原第二甲字校 臧場体駅・(中止)園外保育(4歳児本園合同なし)<大泉緑地・バイキングなし>		
		・秋の園外保育(2歳児)<大池公園>		
11月	142	・サンマパーティー		
' ' ' '	174	·獅子舞		
		(中止)ヒューマンタウンフェスティバル(5歳児)(中止)中央小学校交流会(幼児/1年生)		
		・・歯磨き指導(歯科衛生士来園)・手洗い指導		
		・中央小学校秋祭り(5歳児)		
		·(中止)園外保育(5歳児本園合同)<電車 奈良公園>	Ц	
		・(中止)保育参加・ブラッシング指導	4#	歳児・5歳児ヒップホップダンス
		・(中止)防犯教室(松原警察署来園) ・(縮小)避難訓練(松原消防署来園なし)		
12月		・(稲小)姓乗訓練(松原用的者未園なし) ・(中止)観劇「一芸ボランティア ジャビジャビ」		
-/,	' '	・ちゃんこ鍋パーティー(4·5歳児)		
		•内科検診		
		・サンタクロース来園・年末年始休園	\sqcup	
1月	142	・保育初め ・(中止)中央小学校交流(5歳児/1年生・5年生)		
		<u>・(中工/中央小子校文派(3歳先/1年生・3年生)</u> ・節分豆まき・個人懇談(希望制)	H	
		・クッキング保育(4·5歳児 カツカレー)		
2月	144	•保育実習(城南女子短期大学 2名)		
		・生活発表会総合練習		
<u> </u>		·生活発表会 ·保育実習(大阪芸術大学短期大学部 2名)	H	
I	ı İ	体15人11人队女们入于处物入于即(47)	1	1 1

3月	145	・クッキング保育(5歳児 唐揚げ・スムージー) ・クッキング保育(5歳児 ピザ) ・各学年クラス会 ・(中止)ひなまつり交流(5歳児/地域高齢者) ・コマ回し大会 ・(中止)社会体験(5歳児・おやつ購入) ・小学校体験(5歳児 中央小学校) ・お別れ遠足(4歳児・5歳児 本園合同)<京都水族館> ・お別れ遠足(3歳児)<大泉緑地> ・お別れ遠足(2歳児)<東新町公園> ・お別れミニ運動会 ・(2歳児) ス 英語会					
		- (縮小)卒園式&茶話会	$ \cdot $	И	\downarrow	\downarrow	,

平成30年度~令和 9年度 社会福祉法人ユタカ福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉	法人ユタカ	福祉会	法人	、番号	3 1 2 (000500	7439		
法人代表者氏名	辰己 祐岡	IJ								
法人の主たる所在地	大阪市平野	、阪市平野区喜連西三丁目15番23号								
連絡先	06-67	06-6797-2011								
地域住民その他の関係										
者への意見聴取年月日										
公認会計士、税理士	令和 3年	■ 6月 5	日(月)							
等の意見聴取年月日	ኮሎ ዕዛ	- ОЯ 3	р (д)							
評議員会の承認年月日	令和 3年	5 6月27	日(日)							
会計年度別の社会福	残額総額	1 か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5 か年度目	6か年度目	7か年度目		
	(R02 年度	(H30 年度	(R01 年度	(R02 年度	(R03 年度	(R04 年度	(R05 年度	(R06 年度		
社充実残額の推移 (単位、エ四)	末現在)	末現在)	末現在)	末現在)	末現在)	末現在)	末現在)	末現在)		
(単位:千円)	306,430	293,430	280,430	267,430	212,780	150,000	120,000	90,000		
うち社会福祉充実事 業費(単位:千円)		13,000	13,000	13,000	54,650	62,780	30,000	30,000		
	8か年度目	9か年度目	10か年度目							
	(R07 年度	(R08 年度	(R09 年度	合	計	社会福祉	业充実事業未	₹充当分		
	末現在)	末現在)	末現在)							
	60,000	30,000	0					0		
うち社会福祉充実事	0.0									
業費(単位:千円)	30,000	30,000	30,000		306,430					
本計画の対象期間	平成30年	三 7月 1	日~令和1	0年 3月	3 1日					

2. 事業計画

中长吐田	市业力	古光廷叫	町左 女担の別	声光 柳	施設整備の	事業費	
実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	有無	(単位:千円)	
4 1. 5	職員給与充実事業	社会福祉事業	新規	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000	
1か年	職員育成事業	社会福祉事業	新規	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000	
度目				小計		13,000	
0 1: 5	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000	
2か年	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000	
度目				小計		13,000	
01.5	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	10,000	
3か年	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図る為、研修費を補助する。	無	3,000	
度目		小計					
	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
4 6 5	通所施設空調修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅 SS の空調設備の改修を行う。	有	12,450	
4 か年	保育所建物修繕事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の建物の改修を行う。	有	6,200	
度目	保育所園庭井戸整備事業	社会福祉事業	新規	松原カリーノ保育園園庭に井戸を整備する。	有	6,000	
				小計		54,650	
	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
_ , _	通所施設建物修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西地域在宅 SS の建物の改修を行う。	有	19,980	
5か年	通所施設大浴場ろ過機修繕事業	社会福祉事業	新規	喜連西デイ・小規模多機能施設の大浴場ろ過機の修繕を行う。	有	8,000	
度目	保育所大型遊具整備事業	社会福祉事業	新規	カリーノ保育園の大型遊具の整備を行う。	有	4,800	
				小計		62,780	
6 か年	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
度目				小計		30,000	
7か年	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
度目				小計		30,000	
8 か年	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
度目				小計		30,000	
9 か年	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
度目				小計		30,000	
10か年	職員給与充実事業	社会福祉事業	既存	職員に対して給与等を増額する。	無	30,000	
度目				小計		30,000	
			合計			306,430	

[※] 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事 業(小規模事業)	職員の処遇改善と資質向上及び安定的経営基盤の構築の為。
② 地域公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事	業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
)実施期間に	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000
		社会福祉充実残額	10,000	10,000	10,000	30,000	30,000	30,000
	財	補助金	0	0	0	0	0	0
	財源構成	借入金	0	0	0	0	0	0
	成	事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
職員給与充実事業	事業費内訳		7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		30,000	30,000	30,000	30,000		240,000
		社会福祉充実残額	30,000	30,000	30,000	30,000		240,000
	財	補助金	0	0	0	0		0
	財源構成	借入金	0	0	0	0		0
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0

事業名	事	業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
	計画の実施期間における事業費合計		3,000	3,000	3,000	0	0	9,000
	財源構成	社会福祉充実残額	3,000	3,000	3,000	0	0	9,000
職員育成事業		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

事業名	事	業費内訳	1 か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
		実施期間に				18,700	0	0
		社会福祉充実残額				12,450	0	0
	財	補助金				6,250	0	0
	財源構成	借入金				0	0	0
	成	事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
通所施設空調修繕事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合	計
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0		18,700
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		12,450
	財	補助金	0	0	0	0		6,250
	財 源 構 成	借入金	0	0	0	0		0
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0

事業名	事	業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
)実施期間に				13,700	0	0	
		社会福祉充実残額				6,200	0	0	
	財	補助金				7,500	0	0	
	財源 構成	借入金				0	0	0	
	成	事業収益				0	0	0	
		その他				0	0	0	
保育所建物修繕事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合	計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0		13,700	
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		6,200	
	財	補助金	0	0	0	0	7,50		
	財 源 構 成	借入金	0	0	0	0			
	成	事業収益	0	0	0	0		0	
		その他	0	0	0	0		0	

事業名	事	業費内訳	1 か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5 か年度目	6か年度目
		実施期間に				6,000	0	0
		社会福祉充実残額				6,000	0	0
	財	補助金				0	0	0
	財 源 構 成	借入金				0	0	0
	成	事業収益				0	0	0
		その他				0	0	0
保育所園庭井戸整備事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0		6,000
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		6,000
	財	補助金	0	0	0	0		0
	財 源 構 成	借入金	0	0	0	0		0
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0

事業名	事	業費内訳	1 か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
	計画の	実施期間に					19,980	0
	おける	事業費合計					10,000	Ů
		社会福祉充実残額					19,980	0
	財	補助金					0	0
	財源構成	借入金					0	0
	成	事業収益					0	0
		その他					0	0
通所施設建物修繕事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合	計
	計画の実施期間における事業費合計		0	0	0	0		19,980
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		19,980
	財	補助金	0	0	0	0		0
	財 源 構 成	借入金	0	0	0	0		
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0

事業名	事	業費内訳	1 か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5 か年度目	6か年度目
)実施期間に 事業費合計					8,000	0
		社会福祉充実残額					8,000	0
	財	補助金					0	0
	財 源 構 成	借入金					0	0
	成	事業収益					0	0
		その他					0	0
通所施設大浴場ろ過機修繕事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合	計
)実施期間に	0	0	0	0		8,000
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		8,000
	財	補助金	0	0	0	0		0
	財 源 構 成	借入金	0	0	0	0		0
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0

事業名	事	業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目
	計画の	実施期間に					4,800	0
	おける	事業費合計					·	
		社会福祉充実残額					4,800	0
	財	補助金					0	0
	財源構成	借入金					0	0
	成	事業収益					0	0
		その他					0	0
保育所大型遊具整備事業	事	業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合	計
		実施期間に	0	0	0	0		4,800
		社会福祉充実残額	0	0	0	0		4,800
	財	補助金	0	0	0	0		0
	財源構成	借入金	0	0	0	0		0
	成	事業収益	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	1年数プレル「※		0

[※] 本計画において複数の事業を行う場合は、2.事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。 ※ 単位は千円とする。

5. 事業の詳細

事業名	職員給与充実事	事業		
主な対象者	当法人職員			
想定される対象者数	200名			
事業の実施地域	_			
事業の実施時期	平成30年 7月 1日~令和10年 3月31日			
事業内容	当法人の職員	員に対する給与等を増額する。		
	1か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	2 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	3か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	4 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
事業の実施スケジュール	5 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
事業の失肥スケフェール	6 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	7 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	8か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	9か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	10 か年度目	全職員に対して給与等を増額。		
	平成30年度より3か年間			
事業費積算	年間 10,000 千円×3年間= 30,000 千円			
***	令和 3年度より7か年間			
(似 异/	年間 30,000 千	円×7年間=210,000千円		
	合計	240,000 千円(うち社会福祉充実残額充当額 240,000 千円)		
地域協議会等の意見と その反映状況				

事業名	職員育成事業	
主な対象者	当法人職員	
想定される対象者数	5 0名	
事業の実施地域	_	
事業の実施時期	平成30年 7	7月 1日~令和 3年 3月31日
事業内容	当法人の職員	らまた。 通の資質向上を図る為、研修受講費用を補助する。
	1か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
事業の実施スケジュール	2か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。
	3か年度目	職員10名を対象に費用助成を実施。

	4 か年度目	_
	5 か年度目	
事業費積算	300 千円×職員	1 0名×3年間=9,000千円
(概算)	合計	9,000 千円(うち社会福祉充実残額充当額 9,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

	I .		
事業名	通所施設空調修	多緒事業 	
	喜連西デイサー	- ビス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施	
主な対象者	設ゆたかの利用	月者200名	
	 喜連西地域在年	ESSの職員60名	
想定される対象者数	260名		
事業の実施地域	大阪市平野区		
事業の実施時期	平成30年 7	7月 1日~令和10年 3月31日	
	喜連西地域在	E宅 SS の空調機器の不具合等が生じていることから、機器の修繕・	
事業内容	交換等を行い、	施設利用者及び職員に安全で良好かつ快適な生活環境を整える。	
	また、感染症の予防、光熱費の削減を図る。		
	1か年度目		
	2 か年度目		
	3か年度目		
	4 か年度目	施設空調機器の修繕・交換等を行う。	
	5 か年度目		
事業の実施スケジュール	6か年度目		
	7 か年度目		
	8か年度目		
	9か年度目		
	10 か年度目		
	空調機器修繕費用として		
	18,700 千円		
事業費積算	(内、社会福祉充実残額充当額にて 12,450 千円、先進的省エネルギー投資促支援		
(概算)	事業費補助金に	こて 6,250 千円を計上予定。)	
	合計	18,700 千円(うち社会福祉充実残額充当額 12,450 千円)	
地域協議会等の意見と その反映状況			
ての区域仏池			

事業名	保育所建物修紹	善業		
) to 11 % m	カリーノ保育園	園園児100名		
主な対象者	カリーノ保育園職員25名			
想定される対象者数	125名			
事業の実施地域	大阪市平野区			
事業の実施時期	平成30年 7	7月 1日~令和10年 3月31日		
	カリーノ保育	育園外壁の劣化の為、亀裂及び欠損部から風雨による漏水等がみられ		
車業由家	る。また、3 F	トイレ・沐浴室・調乳室の壁が劣化しはがれている。これらの修繕		
事業内容	により建物の長	長寿化を図るとともに園児及び職員に安全で快適な環境を確保する。		
	また、水災害時等における事態の拡大化の予防を図っていく。			
	1か年度目			
	2 か年度目			
	3か年度目			
	4 か年度目	カリーノ保育園の修繕工事を行う。		
事業の実施スケジュール	5 か年度目			
ず未の失心ハブフェール	6 か年度目			
	7 か年度目			
	8か年度目			
	9か年度目			
	10 か年度目			
	修繕費用として			
事業費積算	13,700 千円			
(概算)	(内、社会福祉充実残額充当額にて 6,200 千円、大阪市民間保育所等大規模修繕費			
(194 开 /	補助金にて 7,5	00 千円を計上予定。)		
	合計	13,700 千円(うち社会福祉充実残額充当額 6,200 千円)		
地域協議会等の意見と その反映状況				

事業名	保育所園庭井戸整備事業		
↑☆社会 老	松原カリーノ保育園園児145名		
主な対象者	カリーノ保育園職員35名		
想定される対象者数	180名		
事業の実施地域	松原市		
事業の実施時期	平成30年 7月 1日~令和10年 3月31日		

	松原カリーノ	保育園の園庭に井戸を設け、周りに木々の植栽や小川等を設置する		
事業内容	ことにより、園	1月に自然と触れ合うことのできる快適な環境を提供する。		
	また、井戸カ	Kの利用により水費用の削減を行う。		
	1か年度目			
	2 か年度目			
	3か年度目			
	4 か年度目	松原カリーノ保育園の園庭に井戸を設置する。		
事業の実施スケジュール	5 か年度目			
争未の天心スプラエール	6 か年度目			
	7 か年度目			
	8か年度目			
	9か年度目			
	10 か年度目			
事業費積算	井戸設置費及び周辺設備施工費として			
*************************************	6,000 千円			
(1% 开 /	合計	6,000 千円(うち社会福祉充実残額充当額 6,000 千円)		
地域協議会等の意見と その反映状況				

事業名	通所施設建物修繕事業			
	喜連西デイサービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施			
主な対象者	設ゆたかの利用者200名			
	喜連西地域在宅 SS の職員 6 O名			
想定される対象者数	260名			
事業の実施地域	大阪市平野区			
事業の実施時期	平成30年 7月 1日~令和10年 3月31日			
	喜連西地域在宅 SS の建物(築20年以上)の外壁に亀裂及び欠損等の経年劣化			
事業内容	がみられ、今後、水災害時や施設運営において甚大な支障をきたすことが予想され			
事未 的合	る為、これらの修繕により建物の長寿化を図るとともに、施設利用者及び職員に安			
	全で快適な環境を確保する。			
	1 か年度目			
	2 か年度目			
事業の実施スケジュール	3か年度目			
	4 か年度目			
	5 か年度目 喜連西地域在宅 SS の建物の修繕を行う。			

	6か年度目	
	7か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算	修繕費用として	
*************************************	19,980 千円	
(1943年)	合計	19,980 千円(うち社会福祉充実残額充当額 19,980 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

登場ろ過機修繕事業 サービス・喜連西デイサービス和み・喜連西小規模多機能型居宅介護施 利用者200名 区 7月 1日~令和10年 3月31日 域在宅SSの建物(築20年以上)の大浴場ろ過機に経年劣化がみられ、		
刊用者 2 0 0 名		
▼ 7月 1日~令和10年 3月31日		
7月 1日~令和10年 3月31日		
7月 1日~令和10年 3月31日		
域在宅 SS の建物 (築20年以上) の大浴場ろ過機に経年劣化がみられ、		
低下している。今後感染症の拡大などが予想される為、これらの修繕に		
より施設利用者に安全で快適な環境を確保する。		
喜連西地域在宅 SS の大浴場ろ過機の修繕を行う。		
して、		
8,000 千円(うち社会福祉充実残額充当額 8,000 千円)		

事業名	保育所大型遊具整備事業	
主な対象者	カリーノ保育園園児	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	大阪市平野区	
事業の実施時期	平成30年 7月 1日~令和10年 3月31日	
事業内容	カリーノ保育園園庭の大型遊具(木製)に経年劣化等がみられ、都度修繕を行う	
	も、長期間使用を禁止する等、安全で快適な運営に支障をきたす為、新規に大型遊	
	具の整備を行い、園児が健やかに成長できる環境を整える。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2 か年度目	
	3か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	カリーノ保育園園庭に大型遊具の整備を行う。
	6 か年度目	
	7 か年度目	
	8か年度目	
	9か年度目	
	10 か年度目	
事業費積算(概算)	大型遊具の撤去費及び新規設置等	
	4,800 千円	
	合計	4,800 千円(うち社会福祉充実残額充当額 4,800 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

[※] 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

当初(平成30年度)計画の5か年度計画を遂行し3か年目を終了した時点で、充実残額が当初の2倍を超えた 為、計画の見直しを図ったが、残り2か年での計画変更は困難である。もって平成30年度からの計画を10か年 計画として見直し、社会福祉充実残額の活用計画を作成する。

◎社会福祉充実計画についての報告

○総括

令和4年度における社会福祉充実計画については、「職員給与充実事業」「通所施設大浴場ろ過機修繕事業」を遂行することが出来た。「通所施設建物修繕事業」については竣工22年目を迎えた為、当年度予定としていたが、工事事前調査で建物タイルや防水面に急を要するような老朽化はなく、計画は延期となった。「保育所大型遊具整備事業」については、既存の大型遊具の撤去が令和5年の春にずれ込んだため、令和5年度の計画に盛り込むこととなった。また、4か年目(令和3年度)に掲げていた松原カリーノ保育園の「保育所園庭井戸整備事業」に関しては、当年度も整備することが出来なかった。これは、新型コロナウイルスが要因の遅延だけではなく、工事事前準備として地下水脈の水質検査を行った結果が芳しくなかったから(人体に健康被害当の作用はないが、魚などの生き物の生息に不向きである)である。引き続き保育所のサービス充実を検討するが井戸整備を継続するか、または昨今の猛暑を避けるため園庭に日差しよけシートを張るなどの計画変更も視野に入れて検討していきたい。

令和5年度においても、できるだけ計画に沿った事業計画を遂行させていくが、工事資材の高騰などがあり、計画金額の大幅な修正等も見込まれる。また、当計画には含まれていないが、法人本部施設(喜連西地域在宅SS)の斜め前の物件購入も検討している。より充実した福祉サービスを地域住民に届けることが出来るよう社会福祉充実残額の活用を検討していく。